

## 令和2年度の取組み状況

### (1) 小・中学校・特別支援学校の児童生徒を対象とする取組み

#### ◆ “いじめ・非行をなくそう” 標語の募集及び全県広報

- ・県内の全小中学校及び特別支援学校に対し“いじめ・非行”の防止・根絶に向けた標語を募集したところ、合計48, 112点の応募があり、各地区ごとに審査が行われ、下記の4点が優秀作品に輝きました。

#### 【令和2年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動優秀標語】

村山地区：ふせごうよ いじめウイルス 心のマスクで

(河北町立谷地南部小学校2年 後藤 杏林さん作)

最上地区：気づいてよ ぼくのこころの ホイッスル

(県立新庄養護学校小学部4年 笠原 永遠さん作)

置賜地区：だめだよと たった一言 その勇氣

(小国町立小国小学校2年 舟山 莉夢さん作)

庄内地区：なやみごと なんでもはなせる あかるいかてい

(酒田市立泉小学校1年 佐藤 菜央さん作)

- ・優秀作品については、青少年の健全育成に携わる関係者が一堂に集う山形県青少年健全育成県民大会（開催日：令和2年10月25日、場所：上山市体育文化センター）の場で作者が表彰され、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動ポスター等各種広報媒体に掲載されました。

### (2) 高等学校の生徒を対象とする取組み

#### ◆ 高校生徒会によるいじめ防止スローガンの作成、ポスターデザインの募集

- ・県内の各高等学校において、生徒会等が主体となっていじめ防止スローガンを策定し、学校ごとにスローガンの実現に向けた様々な取組みが行われました。
- ・県内の高等学校に対し、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動のポスターデザインを募集したところ、計8点の応募があり、審査により優秀作品が選ばれました。

#### ◆ 「児童・生徒と地域の大人の対話会」の実施

- ・県内4地区において、子どもと地域の大人が互いに向き合い、いじめ防止のために何ができるのかを考える対話会を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3地区では中止となりました。対話会を行った庄内地区では、オンライン環境でリモート開催をするなど、状況に応じた工夫がみられました。また、このような状況だからこそ、子どもと大人が直接対話する本会開催の意義が高まりました。

### (3) 県内の各地域における取組み

- ・県内各地域の推進機関・団体は、それぞれの計画に基づき、街頭及び学校での啓発活動やいじめ・非行防止のための講習会・懇談会等を開催するなど、積極的な活動を展開しました。

- ◆いじめ・非行防止セミナーの開催（山形県青少年健全育成県民大会の中で開催）  
青少年の健全育成に携わる関係者が一堂に集う山形県青少年育成県民大会の場で、地域・学校・家庭の3者の連携をテーマに、人気著書「子ども六法」の著者である山崎総一郎氏による「いじめを予防するために、いじめを根絶しよう」と題した講演と山形市の優良事例発表を実施しました。

講演では、いじめ根絶を目指すことが必ずしもいじめの予防には繋がらないとの内容から、いじめの潜在化を防ぐことの大切さについて改めて考える機会が得られました。事例発表では、山形市青少年育成市民会議が日ごろの活動について発表し、その内容を共有することで、各地域における活動の在り方について理解と関心が深まりました。

- ◆地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会の開催

令和2年11月30日に県庁講堂にて、講師にインターネット安全教室事務局株式会社教育ネットの宮川麻子氏を迎え、「インターネット安全教室」と題し、青少年を取り巻くネット社会の現状と課題についてわかりやすくお話しいただき、情報セキュリティやメディアリテラシー教育において子ども達に伝えるべきポイントを分かりやすく説明していただきました。今後、子どもたちが自ら情報社会に参画していく態度を育む方向に変わっていく大きなヒントを得ることができました。

#### (4) 各種媒体による普及啓発



山形県立遊佐高等学校3年 門脇らなさんの作品がポスターデザインに選ばれました。

- ・普及啓発音源の活用
- ・県内プロスポーツ団体と連携した啓発活動

モンテディオ山形と連携し、山形総合運動公園にて11月11日の試合会場等で啓発活動を実施しました。

- ◆運動の概要について、詳しくは実施概要をご覧ください。